令和8年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

# 第1回幹事会

■ 日時：令和8年8月20日（木）10:00～11:45
■ 場所：四日市商工会議所3階大会議室（オンライン併用）
■ 出席者（敬称略）

（有識者）

東京大学 大学院 工学系研究科 教授 村山顕人
名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 松本幸正（オンライン）
早稲田大学 理工学術院 教授 有賀隆（オンライン）

（交通関係者）

近畿日本鉄道㈱ 鉄道本部 名古屋統括部 施設部長 三重和宣（オンライン）
三重交通㈱ 取締役 高田和昭
三重交通㈱ 企画部 部長 小瀬古恵則(随行)

（商工関係者・大規模権利者・事業展開企業）

四日市商工会議所 専務理事 山下二三夫
近鉄グループホールディングス㈱ 総合政策本部 企画推進部 部長 切中義憲
近鉄グループホールディングス㈱ 総合政策本部 企画推進部 課長 森有一郎(随行、オンライン)
近鉄グループホールディングス㈱ 総合政策本部 企画推進部 係長 坂井厚太(随行、オンライン)
㈱シー・ティー・ワイ 取締役 営業部 部長 伊藤秀明
㈱シー・ティー・ワイ 営業部 次長 山本龍太郎（随行）

（行政）

三重県 県土整備部 都市政策課 副課長 雲匡司(オンライン)
四日市市 副市長 荒木秀訓

（賛助会員）

㈱日建設計 都市・社会基盤部門 シビルグループ CM・測量部長 中村出(オンライン)
㈱日建設計 都市・社会基盤部門 シビルグループ CM・測量部 アソシエイト 河野正雄(随行、オンライン)
㈱日建設計 都市・社会基盤部門 都市デジタルデザイン課 アソシエイト 豊島香須弥(随行、オンライン)
㈱マクニカ イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 部長 山口博史
㈱マクニカ イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 課長 長南篤史(随行)
㈱マクニカ イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 担当 奈良岡龍一(随行)
㈱マクニカ イノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 担当 小林達哉(随行、オンライン)

（オブザーバー）

国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官 髙濱康亘（オンライン）
国土交通省 都市局 街路交通施設課 課長補佐 渡邊枢（随行、オンライン）
国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 企画専門官 小林真大（オンライン）
国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長補佐 村松道康（代理出席、オンライン）
国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課 調査員 竹内貴大（代理出席、オンライン）
国土交通省 中部運輸局 三重運輸支局 企画調整担当 係員 松田蒼生（代理出席、オンライン）

■ 次第

1. 開会

2. 議題

・議決事項 第1号 令和7年度歳入歳出決算について
・議題 第1号 幹事会会員の変更について（報告）
・議題 第2号 今年度の活動内容について
・議題 第3号 ワーキンググループ（WG）の実施報告
・議題 第4号 その他報告事項について

3. 閉会

■ 内容
【1.開会】
<進行>
本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。
オンラインでご出席いただいている方につきまして、音声は聞こえておりますでしょうか？
ただ今から「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」の令和8年度第1回幹事会を開会いたします。
本日の会議を進行させていただきます、四日市市政策推進部の中尾です。よろしくお願いいたします。
はじめに、配布させていただいております資料をご確認ください。全部で9種類の資料と2種類の別添資料をお配りしています。過不足ありましたら挙手にてお知らせください。
また、一点お願いでございますが皆様ご発言いただく際にはお手元のマイクのスイッチをオンにしていただきましてご発言が終わりましたらオフにしていただきますようお願いいたします。
それでは、会議の開催にあたりまして、本協議会の会長である荒木副市長よりご挨拶をさせて頂きます。

<荒木副市長>
皆様、改めましておはようございます。本協議会の会長を務めさせていただいております四日市市副市長の荒木と申します。本日はどうぞよろしくお願い致します。本日は議事次第のとおり令和7年度の歳入歳出決算、幹事会会員の変更等を予定しております。これまで進めておりました中央通り再編事業では、昨年12月に完成致しました円形デッキ「よんまるテラス」に続きまして直線デッキと近鉄百貨店連絡通路が6月13日に開通致しました。今後、9月頃に商店街への動線も開通を予定しており、さらなる回遊性の向上につながるものと考えています。中央通り再編の変遷や今後の中央通りの姿等が確認できるパネルも市民の皆様に広く知っていただきたいという思いから設置していますので、皆様もぜひご覧いただければと思います。これまで中央通り再編事業に合わせて取り組んでまいりましたこのスマート化につきましては国の支援をいただき、四つの事業の実装が完了しております。補助制度による実装化は完了致しましたが、今後も引き続き皆様からのご意見をいただきながらさらなるスマート化を実現してまいりたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。また、前回の協議会の場において「もっと広く市民の方にこの取り組みを周知すべきではないか」というご意見もいただきました。実装化しました事業については広く市民の皆様に知っていただくために、8月5日発行の広報よっかいちに特集号を組み広く周知をさせていただいたところです。こちらの取り組みにつきましては後ほど担当からご説明させていただきます。今後も引き続き皆様のご意見をいただきながらさらなるスマート化に向けて取り組んでまいります。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

<進行>
ありがとうございました。
続きまして、本来であればご出席の委員・企業・団体の皆様のご紹介をさせて頂きたいところではございますが、時間の関係もございますので、別添の出席者名簿に代えさせて頂きます。

【2.議事】
<進行>
本日の議題は、議決事項1項目と議題4項目を予定しております。
具体的には、議決事項1：令和7年度歳入歳出決算について、議題1：幹事会会員の変更について、議題2：今年度の活動内容について、議題3：各ワーキンググループの実施報告、議題4：その他報告事項について、という順番で議事を進めさせていただきたいと思います。それでは、早速ですが議決事項第1号の四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和7年度歳入歳出決算について事務局からご説明をさせていただきます。

<四日市市政策推進課>
資料1に基づいて説明

<進行>
続きまして、令和7年度監査報告につきまして、監査委員を代表して、四日市商工会議所山下様よりお願いいたします。

<四日市商工会議所>
資料1(3ページ以降)に基づいて説明

<進行>
ありがとうございました。本件に関しまして、ご質問等ある方はお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

<荒木副市長>
少し、補足で説明させていただきたいと思います。協議会の予算につきまして、国の補助金を活用するために協議会組織で予算化してきたという経緯がございます。従いまして、冒頭で申し上げましたように国の予算が一旦切れたということから、今後必要な事業については市の方でそれぞれ単独の予算として計上していきます。またこの場におきましても市の予算の関係については報告させていただければと思っていますので、予算が全然つかないとかいうことではなく市の方で予算化していくということでご理解いただければと思っています。以上でございます。

<進行>
補足をいただきましたが、本件に関しましてご質問等ある方はお願いいたします。
よろしければ議決事項第1号につきまして、本協議会規約七条第五項の規定に基づきご承認をお願いしたいと思います。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。
ありがとうございます。会員総数の過半数を超えるご承認をいただきましたので、議案のとおり議決とさせていただきたいと思います。議決事項につきましては以上となりますので、次からは報告事項に移らせていただきたいと思います。ここからの進行につきましては座長にお願いしたいと思います。村山先生お願いいたします。

<村山座長>
承知いたしました。皆さんおはようございます。本日もよろしくお願い致します。まず初めの議題は、幹事会会員についての報告です。ご説明は四日市市政策推進課様よりお願いいたします。

<四日市市政策推進課>
資料2に基づいて説明

<村山座長>
ご説明ありがとうございました。次の議題は今年度の活動内容についてです。この説明につきましては、株式会社日建設計様および事務局よりお願いいたします。

<日建設計総合研究所>
資料3に基づいて説明
<四日市市政策推進課>
資料3(7ページ)に基づいて説明

<村山座長>
ご説明ありがとうございました。それでは活動内容につきまして、ご意見やご質問のある方は挙手の上ご発言いただけますでしょうか。
先ほどもお話ありました通り、国土交通省の補助によるスマートシティ実証化支援事業は昨年度末をもって終了しましたけれども昨年度までの取り組みの中で出てきた課題を解決するということを目指して、今年度も取り組み、予算は市の方で手当してくださるということですし、実行計画の継続については次回の幹事会で具体的に検討す

るということで事務局としてはこれを継続したいという意思を今日表明していただいたと思います。ワーキングの報告がまたあとでありますので当面はこういう形で4つの事業を継続していくということで、ご了承いただければと思います。WEBの方は発言される場合は挙手ボタンを使っていただければと思います。
それでは、特にご質問等がないということで次に参りたいと思います。次は議題3のワーキング実施報告です。前回の幹事会以降に各ワーキングで実施された会議の内容についてそれぞれのワーキングの代表企業様からご説明いただきます。はじめにデータプラットフォームワーキングの代表であるシー・ティー・ワイ様からお願いします。

<シー・ティー・ワイ>
資料4に基づいて説明

<村山座長>
ご説明ありがとうございました。続きまして、モビリティワーキングの代表であるマクニカ様からご説明をお願いいたします。

<マクニカ>
資料5に基づいて説明

<村山座長>
ご説明ありがとうございました。それでは2つワーキングの実施状況について、ご意見やご質問のある方は挙手の上、ご発言いただけますでしょうか。
なかなか出にくいので私から少し発言します。まずデータプラットフォームワーキングの方は、今年度は公園DXアプリを具体的に開発されるという明確な目標があって、今までの取り組みからの積み重ねで非常に実現性の高い取り組みと拝見しました。それからモビリティワーキングの方は、先日の議論の中で気候との関係を見てはと申し上げましたが、その内容を早速取り入れていただきましてありがとうございます。最近やはり暑熱とか水害、気候変動に伴ういろいろな影響がひどくなってきていて、それが経済的にもかなりの影響を及ぼすということが結構マスコミでも取り上げられていますので、せっかくこの実験を夏の暑い時期から少し涼しくなる時期まで行うので、その間自動運転の車にどのぐらいの人が乗るのか、天候との関係はどうか。あとは、少しモビリティワーキングの範疇から外れてしまうかもしれませんが、歩行者がどのぐらい増減するのかということも、自分の研究室もそういったことに関心がありますので一緒に取り組めればと思います。また一点質問ですが、今回新しい車両EVO3を導入されるということですがこれは全国的に見た時にも先進的なのでしょうか。それとも他の自治体でも結構同じ車両で同様の実験をやっていらっしゃるのでしょうか。

<マクニカ>
EVO3は昨年リリースされた車両ですが、昨年以降この車両をメインに広めていくということで、他の自治体さん含め、現在EVO3がメインの車両になっております。

<村山座長>
全国的にもいくつかの自治体で実験する中で、四日市もやっていくということですね。

<マクニカ>
そうですね。

<村山座長>
はい、どうもありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
2つのワーキングの報告、どうもありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。
それでは議題4に移りたいと思います。その他報告事項に関することです。2つございますので、まず市広報における四日市スマートリージョン・コアに関わる取り組み紹介について事務局から説明をお願いします。

<四日市市政策推進課>
資料6に基づいて説明

<村山座長>
どうもありがとうございます。では、併せて「ニワミチよっかいち」のシンポジウムの開催について説明をお願いします。

<四日市市市街地整備課>
資料7に基づいて説明

<村山座長>
ご報告ありがとうございました。それでは2つの報告についてご質問、ご意見等はございますか。
私からまちづくりシンポジウムの開催についてということで、私もサロンに登壇させていただくのでその中身のことで頭がいっぱいだったのですが、全体として社会実験を兼ねたと書いてあるところが普通のイベントとは違う部分があるのかなと思います。具体的に実験的な部分というのは、資料裏面に会場レイアウトイメージがありますがオープンスペースをこういう形で利活用すること自体あまりやらないことなので、これ自体が実験ということでしょうか。もし運営方法など、いろんな人がどういうふうに参加するかという仕組みのところで実験的な要素があるのであれば教えていただけますでしょうか。社会実験を兼ねたというふうに書いてある意図というか、趣旨をもう少しご説明いただけるといいかなと思いますがいかがでしょうか。

<四日市市市街地整備課>
ありがとうございます。まずは社会実験の定義になりますけれども、やはり公共空間の使い方という点でまだ定め切れていないところがございますので、今回その使い方という目線でまず市が実践していくということと、あとはキッチンカーなどの出店について観光協会さんに関与していただきお声がけいただきながら、どのような方に出店いただけるかなど、サウンディング的な意味合いも含んでいる社会実験と考えていただければと思っております。

<村山座長>
よくわかりました。ありがとうございました。他にいかがでしょうか。
日程は決まっておりますので、皆様日程を押さえていただいてぜひご参加いただきたいと思いますし、周りの方々にもぜひご紹介いただければと思います。広報はいつぐらいになりますでしょうか。まだあまりこの情報はオープンにはなってないと思いますがいつごろから情報が出ていく感じですか。

<四日市市市街地整備課>
今事業案をいろいろ構成させてもらっているところでございまして、一つの目安といたしましては、9月中には概要的なものをまず第一歩として発信していければと考えております。

<村山座長>
わかりました。では準備ができましたら、このメンバーにもぜひ周知よろしくお願いいたします。他に質問などいかがでしょうか。
全体として用意してきた議事事項は以上ですがまだ時間がありますので、折角ご出席いただいている現地参加の方から簡単に一言ずつコメント等をいただきたいと思います。三重交通の高田様、よろしくお願いします。

<三重交通>
今回、明確な課題を持って取り組んでいただくということで本当にありがとうございます。特に、いろんな広報やシンポジウムを開いていただくことで、若い人たちにももっと自分のまちに興味を持っていただいて、まちづくりに携わったり、高校生、大学生等が地元に残って仕事をしていただけるようになると良いので、この機会を活用していただきたいなと思っております。それから、我々と関係のある自動運転のところで申し上げますと、県内では桑名市と伊勢市でもやっておりますが、明確にコンセプトが異なっています。やはり伊勢・桑名は大量輸送を今後どうしていく

かという中での自動運転という選択肢なのですが、四日市市の場合はどちらかというと回遊性向上、普通に歩いていこうか、でもちょっとちょうど来たから乗っていこうかという、そんなコンセプトと思っております。我々も携わらせていただいておりますので、非常に興味深く今後も一緒にやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<村山座長>
どうもありがとうございます。それでは四日市商工会議所の山下様、お願いします。

<四日市商工会議所>
いろいろやっていただいてありがとうございます。ただ、うちのところに来られたお客様などが、外を見てあれは将来どうなるの?と言われることも多く、市民の方々も中心部の方でよく見ている人は分かるかもしれませんが、全市的に考えるとほとんど何をやっているのか分からない方がかなり多いのではないかと思います。やはり先ほど広報の話もありましたが、工事はやっていますが将来こうなるよというのを分かりやすくPRしていただくと興味を持つかもわかりませんし、今の段階では工事をしていることだけが先に出て実証実験をしているのも多分あまり理解をされてないのかなと思いますので、ぜひ将来的にこんなふうに四日市は変わっていくというような、まず未来像を示してもらって、それが何年ごとに段階的に変わっていくよということを示していただくとありがたいと思います。

<村山座長>
ありがとうございます。11月のイベントに合わせて動画を鋭意作成中と聞いておりますので、それにも期待したいと思っております。それではシー・ティー・ワイの伊藤様よろしくお願いします。

<シー・ティー・ワイ>
データプラットフォームについて、この3年色々展開してきたわけですけども、今、山下さんからもありましたが、3年、5年後のテクノロジーの変化に対しても基盤として枝葉を伸ばせるような基礎作りをしたいなということは考えています。その中での課題は、どういう年齢層をターゲットにしていくのか、例えば今30代の人や60歳の人たちなどちょうど過渡期になっていますので、こういう実証実験を含めて、もっと尖った、例えば年配向けや小学生向けの利活用なども展開できればなと。特にやはり電子マネーなどの利便性という部分では、まだ日本では現金主義である一方、世界を見ればもう現金を扱っていない等の実状も含めて、商店街も含めての巻き込み方や盛り上がり方というのも必要だと感じています。先ほどのバスについても、近鉄駅からJR駅間の移動は三重交通さんや三岐さんが主となっていますが、特に学生さんが使う場合、無料で行けるものなのか、お金がいるものなのか、例えば無料であれば、既存のバス会社さんとの関係がどうなっていくのかなど、このスマートシティの取組を進めていくことによって住民にとって何が得するのか、逆に企業としてビジネス的な部分もないと継続させることも難しいと思います。先程申し上げたターゲット、例えば高校生目線では学生の間は無料で使えるのだったら便利だなど、そういった意見などもこの実験実証の間で展開をして、次世代につなげていければと思っています。そういう意味で5年後、10年後どんどん進歩していく中で、枝葉を伸ばしていけるような基盤作りというのを目指していきたいなと思っております。

<村山座長>
どうもありがとうございました。それでは賛助会員のマクニカの山口様、よろしくお願いします。

<マクニカ>
先ほども申し上げましたが、8月5日から実証運行ということでやらせていただいております。今のところ何も大きなトラブル等なくやらせていただいておりますが、我々としても、安全第一で今期も無事に終えることができるようにスタッフ一同やっていきたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

<村山座長>
どうもありがとうございます。それでは続いてオンラインの方にご発言お願い致します。近畿日本鉄道の三重様、よろしくお願いします。

<近畿日本鉄道>
本日はどうもありがとうございました近畿日本鉄道の三重でございます。改めて四日市の将来の取り組みがよくわかりました。引き続き当社としても協調や協力を取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

<村山座長>
ありがとうございました。それでは近鉄グループホールディングスの切中様お願いします。

<近鉄グループホールディングス>
実際、工事も進んでこられデッキも公開されまして、今日ご報告がありましたそれぞれワーキングの取り組み、いろいろ勉強になります。先に述べられたことと重複するところもありますが、この実証実験等いろいろな取り組みをやりっぱなしではなく、こういう広報活動とか、市民の皆さんへの周知みたいなところに力を入れられており、非常にいいことだと思います。今後実際にサービスがローンチしていく中で、特にMaaSやデータ活用などはなかなか最初から最終形が分からないものですから、使いながらユーザーエクスペリエンスも含めてケアしていければいいのかなと思います。あと、シンポジウムの方で都ホテルをご活用いただきまして、ありがとうございます。

<村山座長>
ありがとうございます。会場の方よろしくお願いいたします。それでは三重県県土整備部の雲様、よろしくお願いします。

<三重県県土整備部>
今日はご報告ありがとうございます。各ワーキングの取り組みでは、MaaSや自動運転についてもだんだん精度が上がってきて便利になるということが見えてきまして、大変素晴らしいと思いました。また期間中に参加できたらと思っております。令和8年度も取り組みがしっかり前に進んでいくように、三重県としても協力していきたいと思います。また他県との会議の場が幾つか今年度ございますけども、四日市市のスマートシティ中央通り再編などの先進的な取り組みを、四日市市さんのご協力もいただきながらご紹介させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

<村山座長>
ありがとうございます。それでは日建設計の中村様お願いします。

<日建設計>
本日はリモートの参加になってしまい申し訳ございません。事業4：デジタルインフラ台帳については、今年度から実装ということで新たに移設工事が完了した区間に整備を追加するということで、国交省様からPLATEAU関連の補助金をいただきまして今年度も追加で整備を進めていける状況になっております。KPIも本日ご説明しましたように、関係者にご意見いただき有効性を確認しながら展開していくということで引き続き進めていきたいと思います。また、弊社の業務としてもPLATEAUの地下埋設物関連業務を今年度も受託することができましたので、その辺りの国の最新の動きも把握しながら、より有効なデジタルインフラ台帳になるように整備改良を進めていきたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

<村山座長>
どうもありがとうございます。それではオブザーバーとして、国土交通省の皆様にもご参加いただいております。もしご発言可能でしたらぜひお願いしたいと思います。国土交通省都市局の街路交通施設課の高濱様いかがでしょうか。よろしくお願いします。

<国土交通省都市局街路交通施設課>
よろしくお願いします。本日現地にうかがえなくて申し訳なかったですが、内容すごく興味深く聞かせていただいておりました。ここはスマートリージョン・コア推進協議会ですけれども、実際には中央通り再編を軸にしていろいろな

会議体の場で多角的に見ているということだと思い、すごくいいなと捉えています。やはり市のテーマとしても、いかに中央通りを良くしていくか、それが中心市街地のエリア全体にどう波及していくかということ、ひいては市全体、もしくは四日市都市圏を支えているということがあると思いますので、そういう意味では、全体がいかに良くなっていくためにこのスマートシティを検討しているということだと理解しています。街路交通施設課の所管の分野でいけば自動運転のところは、すごく息長くやってらして以前より取り組みは承知していましたが、今年度は特に市民の足として回遊性を生んでいくという点で非常に重要な位置づけにある年度と捉えています。街路交通施設課の関心とすれば、インフラ側での課題というのも見えてくるのではと思っています。車両や運行に対する課題に加えて、インフラ側で対応すべき課題という観点でも、今後ともぜひ我々も勉強させていただきたいと思っていますので、また教えていただければと思っております。よろしくお願いします。

<村山座長>
どうもありがとうございました。続きまして、都市局国際デジタル政策課の小林様、よろしくお願いします。

<国土交通省都市局国際デジタル政策課>
スマートシティの実装化支援事業としてのご支援としては、昨年度一旦終了となっておりますが、本当に補助を幅広く効果的に活用していただいたと認識しており、ぜひここで進められた取り組みを継続的にさらに進めていっていただければと思います。我々としましても四日市で取り組まれている成果や課題も含めて、取り組みの内容について他の地域の皆様の参考になる部分が非常に多いと思いますので、そういった面で引き続きご協力をいただきながら、全国的なスマートシティの推進を図っていければと思っております。また、その中でも当課との関連という意味では、デジタルインフラ台帳の3Dモデルを活用されたインフラ管理の面で補助も使っていただいているというところですが、3D都市モデルの地上のモデル整備というところは進んできている一方で地下の部分の3D化、またその活用というところは、いろいろと課題もある中ではありますけども今後可能性がある分野だと思っております。そういう意味では四日市さんの方で先進的に実施していただいているところは我々としても非常に関心高く、引き続き勉強させていただきながら進めていただければと思っております。

<村山座長>
どうもありがとうございました。続きまして、国土交通省中部地方整備局の村松様いらっしゃいますでしょうか。

<国土交通省中部地方整備局>
本日ご報告で、自動運転やMaaSが着実に進んでいると理解をさせていただきました。今後、シンポジウムの中で単発のイベントで終わるのではなく、市民や関係者の方の意見であったりとか、期待とかニーズの結果を中央通りの利活用であったり今後の自動運転MaaSの取り組みに反映していくような形を取っていただければなお良いと思います。引き続き、関係者の方々とさらなる取り組みを深化しつつ、中部地整としても引き続きよろしくお願いできればと思います。本日はありがとうございました。

<村山座長>
どうもありがとうございます。続きまして、中部運輸局の竹内様、よろしくお願いします。

<国土交通省中部運輸局交通企画課>
本日代理で出席させていただきまして失礼いたします。お話いろいろ聞いている中で、市民への8月の広報誌にも載せられたということで市民へ広く周知を図っている段階ということで、ついにいろいろ動き出したところと拝聴させていただきました。引き続きバスタの整備や自動運転等についてお手伝いできることがあればなんなりと運輸局または三重運輸支局の方にご相談いただければと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

<村山座長>
どうもありがとうございます。最後に中部運輸局三重運輸支局の松田様、お願いします。

<国土交通省中部運輸局三重運輸支局>

本日は貴重なお時間ありがとうございました。三重支局から自動運転では様々な方法で周知いただいているところではありますが、今後、バスタの完成も見据えて、路線バスや電車なども活用していただいて、公共交通の利用促進につなげていただきたいと思っております。

<村山座長>
どうもありがとうございました。それでは副市長の荒木様、お願いします。

<荒木副市長>
熱心にご議論いただきましてありがとうございます。私どもといたしましてはハードソフト両面でいろいろな課題があり、さらなるバージョンアップをしていかなければならないと考えてございます。バスタの運用開始、或いは公共施設についても今後中心市街地においていろんなまちづくりの形態が変わってきます。例えば「知と交流の拠点施設」が出来上がってくるなど、やはり進化し続けていく必要があると考えてございます。今後とも、皆様からのご意見を拝聴しながら、さらなるバージョンアップに努めていきたいと考えてございます。最後に、市民の方々への周知という面も非常に重要なことと認識してございますが、なかなか難しい点もございまして、今までご意見いただいた方の中には、例えば円形デッキが出来上がって、今まで全然関心がなかったけども関心を持たれてきたということも伺ってございますもので、市民の方と一緒になって、まちを作って盛り上がっていければと考えてございます。今後もさらなる市民への周知については一過性で終わることなく心がけていきたいと思ってございます。

<村山座長>
どうもありがとうございました。皆様、貴重なコメントいただきましてありがとうございます。それでは司会を事務局にお返しします。

<進行>
村山先生、ありがとうございました。それでは、全体を通しまして、ご参加いただいております先生方からコメントいただければと思います。最初に松本先生からお願いいたします。

<松本先生>
今日は現地に出席できず残念でございました。皆さん活発に意見交換されており、現地で参加したかったと思っておりますが、まずもって国の補助事業としては昨年度で終わった中で、市がちゃんと予算措置をしながら責任を持って進めていくことになったことは大変嬉しく思っております。やはり補助金頼りで進めていくのでは、どこかで限界が来てしまいますので、まずは国の補助金がなくなって、今度は市が予算を組みながら進めていき、ゆくゆくはちゃんと自立して、それぞれが予算なしでも動くような、そんな形になっていくと素晴らしいのではないかなと思っております。そんな中で、やはり一番重要なのは、市民の方々に知っていただく、あるいは地域の方々、あるいは四日市だけではなくて、その周辺の自治体も含めて知っていただくことが大事だと思っております。まずは市の広報が進んでいったということでありがたいと思いますし、今年度社会実験が行われる中で、空間の使い方を楽しんでもらうというのはすごく大事だなと思っております。まだまだ日本の場合、公共空間を使うという概念や使い方などがまだまだ進んでおりません。実は公共空間がこんな使い方があるんだというのを体験してもらうのはすごく大事だと思っております。まだ空間ができていませんのでそこの段階までいきませんが、一歩一歩進んでいくことが大事じゃないかなと思っております。それから自動運転について、先ほど三重交通の高田さんからもお話ありましたが、いわゆる大量輸送、効率的に運ぶという手段とは違う手段としての自動運転がこの四日市で動き出します。おそらく移動の付加価値をいかにつけるかということが重要だと思っております。以前も紹介させていただきましたが名古屋ではSRTという移動の付加価値を生む交通手段ができてきておりますので、この四日市の自動運転もそのようなものになっていくだろうと期待しております。そういう意味でコンセプトを早めに打ち出しながら、技術的な実証というのも大事ですけれど、そのコンセプトの実証というのもぜひ進めていただけるといいと思っています。今回、そういう意味で自動運転の車両の中で発信するなどの取組があったと思いますので、楽しみにしております。それから、データプラットフォームの方で、今回各部署の方に聞き取りに行っていただいたのはすごくいい試みだなと思っておりますが、個人的には樹木の植栽の維持管理に係る情報をデータプラットフォームに入れていただけるといいなと思っております。世界中でi-Treeと言いまして、街路樹などの維持管理の情報をしっかりとデータベース化されてい

るという事例もあります。中央通りにおいては、今後植栽もたくさんできてきますので、街路樹も含めて情報をデータプラットフォームでも入れてもらうとよいのではと思っています。いずれにしましても、この後の市主導の取り組みにも大変期待したいと思っておりますので、どうぞ皆様方ご協力よろしくお願いいたします。

<進行>
松本先生、ありがとうございました。次に有賀先生、お願いいたします。

<有賀先生>
オンラインで失礼します。令和8年度の第1回目の幹事会ということで、ここまでの到達点をワーキンググループ毎に細かく丁寧にご発表いただいて、とてもわかりやすく良かったなと思います。スマートリージョン・コアという大きな取り組みの中で、分野別のワーキンググループの取り組み、特にリアルタイムな変化や利活用の状況等を、様々なセンシング技術も使いながら把握して、それをうまくマネジメントしていくという、そういう側面がモビリティ、データプラットフォーム、空間利活用、コミュニケーション等の面も含めて都市のリアルタイムな変化や利活用の需要の変化、行動の変化といったものをうまく反映するようなマネジメントの仕組みへの展開可能性が随分見えてきたかなという思いがしました。一方で、今まで細かな議論にはなってないのですが、やはりPLATEAUとBIMの統合、利活用の上でいかに2つをシームレスにつなげるかということ、CIMいわゆるシビルエンジニアリングの部分のインフォメーションモデリング、それに加えて、おそらくランドスケープという点からはLIMと言ってもいいかもしれませんが、ランドスケープのインフォメーションモデリングというようなものを四日市ならではの取り組みとして明確に枠組みを作ってもよいのではと思いました。もちろんPLATEAUがもともと持っているような3D地形、建物の敷地や外形、もちろん個々の建物のデータを見れば、かなり詳細な構造とか用途等も入ってくるわけですが、そういったBIMとCIMとLIMとPLATEAUとを接続し、それらをどのように使いやすく、スマートリージョン・コアの中で組み立てていくかということを、大きな次の段階の発展目標としてもいいのかなと思いました。最初に申し上げたように、今それぞれのワーキングの方でリアルタイムな社会実験を通しながら、リアルタイムな状況変化とか環境変化、そういうものをうまく捉えてマネジメントしていくっていうところは、だいぶ中央通りの具体的な事業が進んでいるというラッキーな面もあるので、そういうことを契機としても使いながら積み上がってきていると思います。そこはすごく丁寧な、しかもフィールドに根差した社会実験のエビデンスベースに積み上がっているので、ここはすごく誇れるものだと思うし、すごく長所だと思うのですが、もう一つ、やはり後半で申し上げたような都市計画と環境予測との将来的な運用に向けた仕組み、防災と危機管理、インフラと資源管理など、いわゆるスマートリージョン・コアのもう一方の中長期的な運用へ向けた将来発展目標というものを改めて確認しておく必要もあるのではと思いました。令和8年の単年度ということではありませんが、ここから次のホップステップジャンプのステップという意味では、大きな取り組み目標を改めて確認しておくということも必要かなと思った次第です。

<進行>
有賀先生、ありがとうございました。最後に村山先生からお願いしたいと思います。

<村山先生>
ほとんど言いたいことは言っていただいたのですけれども、国の支援をいただきながら、スマートシティのインフラとして素晴らしいものができたと思います。今日、市の方でも今年度から継続して予算をつけてくださるということで心強いですが、こういう状況だからこそ、産学官民連携が大事になってくると思います。この組織がこの取り組みの中核部分を担うと思いますが、この活動内容を外に開いて、外のサポーターをどんどん増やしながら、資金も外から集めてくるというようなふうになるのが理想形と思いました。今後は、松本先生、有賀先生からもお話がありました通り、街路樹を含むランドスケープとか、それから今この事業が始まって沿道の建物がどんどん建て替わっており土地利用が変わってとても質の高いものができているのですが、さらにそれを良くするための沿道デザインのガイドラインとか、いろいろやりたいことがたくさんあると思いますので、そういった分野までうまく広げることができればよいのではと思っています。今年度はスマートリージョン・コアの実行計画の最終年度ということで、次の幹事会でこの更新をどうするかという話になると思いますが、これまでやってきたものの中でうまくいっているもの、あるいは計画以上にうまくいっていることもあるし、逆に、本当はこう構想していたけれどあまりうまく展開できなかったものも正直あると思います。その辺をちゃんと振り返って評価をして、さらにやるべきものを盛り込んで次につなげると

いうとても重要な1年になるのではないかと思っていますので、引き続きいろいろと前向きに議論して展開できればと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

<進行>
村山先生、ありがとうございました。本日、皆様からいただきましたご意見を踏まえまして、しっかりと取り組みを進めていきたいと思います。それでは、以上をもちまして、令和8年度第1回幹事会を閉会とさせていただきます。第2回以降の幹事会につきましては、また改めて事務局からご案内をさせていただきます。本日はありがとうございました。

以上